

令和2年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和3年3月20日

1.本園の教育目標

①「健康」健康で明るく元気に満ちた子どもに ②「積極」素直で何事にも自分から進んで力いっぱい取り組む子どもに ③「協調」友たちと仲良く遊び、思いやりの心がかかる子どもに

2.本年度重点的に取り組む目標・計画

幼保連携型認定こども園教育・保育要領を踏まえて、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を最優先で対応し、安心安全な環境を整え、その中でも質の高い教育・保育の実践を目指す。

3.評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	発達年齢に即した、行事等の内容を再度検討する	A	それぞれの職員が検討を価値ね、行事の在り方や曲の選定等で発達年齢に見合った充実したものとなった。
2	職員の仕事の効率化をさらに充実を図るため、職員個人のICT理解を深め実践する	B	保護者との通信面は、大きな効果が得られたが、職員自身の活用には、更なる充実が求められる。
3	新型コロナウイルス感染症等の対応に対して、乳幼児の安心安全を確保するための方策を、常に確認しその取り組みに重点を置く	A	園児・保護者・教職員が一致団結し非常によく取り組むことができた。

評価(A→十分に成果があった B→成果があった C→少し成果があった D→成果がなかった)

4.総合的な評価結果

評価	理由
A	3つの評価項目について重点的に取り組んだ結果、新型コロナウイルス感染症の影響で数多くの制限を受けた中、この感染症の防止をはじめ、当初予定していた大きな行事等も開催でき、日常の保育では質の高い教育・保育を実践することができた。教職員もコロナ禍増えた作業にも一致団結して取り組めた。

評価(A→十分に成果があった B→成果があった C→少し成果があった D→成果がなかった)

5.今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	保護者連絡	園児たちの園で過ごす時間が長くなり、職員がシフトで交代になる場合に引き継ぎ事項を正確に行うことで、保護者との連絡の漏れが無いように取り組む。
2	特別支援対応	特別支援児が年々増加する中で、全職員が共通理解を心がけ、ネットワークを構築しながら、より良い援助の方法を再度検討する。
3	仕事の効率化	保護者への連絡等の手段のほとんどが紙ベースであるが、コドモンをより活用し作業の効率化と保護者との連絡ツールの充実を図る。

6.学校関係者評価委員会(評議委員会を活用)の評価

今年一年を通して新型コロナウイルス感染症と戦った年度となりました。その中、日頃から先生方の教育・保育への情熱を感じました。子どもたちの姿からも指導・援助の成果を感じました。また、園運営でも時代の変化や保護者ニーズに対応しながら、独自の教育・保育目標を達成させる取り組みを積み重ねていることの素晴らしさを強く感じました。

保護者アンケート評価、公開保育における評価、教職員の自己評価のすべてが高い評価になっていました。今後も各アンケート評価でいただいた意見を精査し、現在の高評価を続けられるよう、教職員の方々の頑張りに期待しています。